

今年一年 大智寺だよりをお読み頂き
ありがとうございました
来年もどうぞよろしくお祈りします



この一年を振り返ると、
2020年東京オリンピック開催が決まり、
富士山は世界遺産に、美濃の本和紙はユネスコ無形文化遺産に
それぞれ登録されるなど嬉しい出来事がある一方、
アフリカを中心にエボラ出血熱が流行したり
身近では御嶽山が噴火し、多くの命が絶たれました。

各家庭でも、一年前にはまったく予期できなかったことが
嬉しい事も悲しい事も目の前に現れていることと思います

この一年間で自分に起こった出来事や
その時その時抱いた思いをじっくり振り返りつつ
仏様、ご先祖様のおかげで
無事どうにか2014年を終えられることに
手を合わせて感謝いたします。



12月31日(水) 23時45分より
除夜の鐘

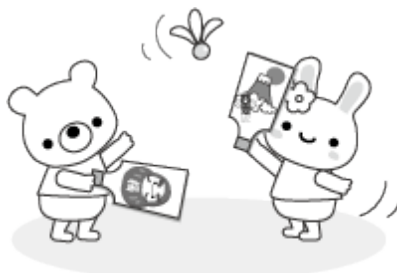
今年の締めくくりに、そして新しい年の幕開けに
どうぞお気軽に鐘を付いて本堂へお参りください。
皆様 夜道くれぐれもお気をつけ下さい。



新しい年を迎えて 仏様に手を合わす
修正会
1月1日・2日・3日(10:00~11:00)

年が明けてお正月3日間、大智寺では皆様にお集まりいただき
本尊様、ご先祖様にお経をお唱えします。
ご都合のつく日を選んで、どうぞお参り下さい。

年のはじめに
大きな声で気持ち良く
お経をお唱えして
一年間の無事をお祈りします。
お帰りには、
「大智寺ご祈禱飴」を
お土産に差し上げます。



大智寺だより

平成26年 師走
Vol.58

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》
大智寺 検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

11月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

1月15日(木) だいはんにゃえ 大般若会
禅寺の新年祈祷法要

10:00~法要・11:00~うどん接待・12:30~お焚き上げ



新年の五穀豊穡や無病息災、国家安泰などを願って
1月にはあちこちの禅寺にて「大般若会」という祈祷法要が行われます。
大智寺でも近隣の和尚様方20名ほどお集まりいただき、
皆様にお配りする「大般若札」のご祈祷をします。
この「大般若札」は、檀家様以外でもご希望される方に授与いたします。
ご自宅の玄関先に貼っていただければと思います。

ご祈祷にご参加いただいた方には、お昼にアツアツのおうどんを差し上げます。
12:30からは、役目を終えたお正月飾りやお墓の塔婆類、お札やお守りを
大智寺山門前にてお焚き上げします。
どうぞどなた様もお気軽にご参加ください。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑧



おりょうくぜん
「法要の日のお霊供膳」

さて先月に引き続き、法要の日の準備の中でもなかなか気を遣うのが
お霊供膳ではないでしょうか。

お霊供膳は大小2膳あるご家庭が多いと思いますが、
一膳はご家庭の本尊様とご先祖様のためのお膳、もう一膳は当日年忌法要を迎える亡き方のお膳です。
お膳はできれば法要の直前に用意し、あたたかい食事をお供えます。
お膳には、飯椀・汁椀・おひら・高坏(たかつき)・壺の5種の器があります。

飯椀・・・ごはんを山盛りにつけ、椀を上下にふってごはんを半回転させると、きれいに丸型が
上に回ります。ごはんをつける前に内側を水で湿らせておくと、後でごはんがお椀に
くっつきません。ごはんの上には七粒ほどのご飯粒をひとまとめにして乗せます。
この七粒ほどのごはんを「生飯(さば)」といい、法要が終わると餓鬼への供養とし、
外の木の幹や石の上に置き、鳥や魚、動物に与えます。

汁椀・・・味噌汁やお吸い物を入れます。ネギなど匂いが出るものはできるだけ避け、
ワカメ・豆腐・油あげ・なめこやしいたけ・芋類などから3種ほど入れて作ります。

おひら・・・仏様にとってメインディッシュです。厚揚げやがんもどきの炊きもの、大根や蓮根、芋類
の煮つけ、揚げ豆腐などをこの器に盛り付けます。

高坏・・・主に和え物をのせます。季節ごとの野菜を活かしたものならなお好ましいですが、
ほうれん草の胡麻和え、白和えなど和え物にして盛り付けます。

壺・・・お豆の煮たものやひじきの煮物、お漬物などを盛り付けます。

お箸をそえたら、普段通り飯椀を左手前 汁椀を右手前に置き、おひらは左奥 高坏は右奥に置きます。

壺は飯椀汁椀おひら高坏に四方を囲まれるように、お膳の中央に置きます。

そして仏様から見てお箸がすぐお取りいただけるよう、方向を間違えないように注意します。

献立は、肉魚鳥類をはじめ、ニラ・らっきょう・ネギ・にんにく・はじかみを避けて
亡き方を思い、気持ちを込めてお作りします。



日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』

お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

⑧

「悪口両舌綺語妄語 いかりはらだち愚痴我慢」

かわいいお嫁さん、珍しい食べ物、社内での地位名誉、親族の残した資産財産など
どうしても手に入れたいものがあると、
心の中の仏心を押しのけて、凡夫の心がむき出しになって見えてきます。
なかなか手に入らなければ、どんどんエスカレートしてゆき
悪口を言う、二枚舌になる、おべんちゃらを言い、ウソもつくようになっていきます。

また、自分の思い通りに都合よく物事が進まない、
怒り心頭、腹を立てるし、愚痴を言ったり我慢したりと、凡夫の心は乱れていきます。
本人は必死にあがいているようですが、心は疲れ果てポロポロになってしまいます。



「もう楽になりたい」と心が叫び出す時に、助けてくれるのは自分の中の仏心です。
自分の肉体と思っているこの身体ですら、自分のものではなく
「仏心」の容器であり単なる入れものなのだ、という気持ちで世の中を見回すと
「手に入れたい」という欲求そのものが、きれいに消えていることに気がきます。
欲求に踊らされる凡夫の心を、ちゃんと仏心が受け止めて平常心に戻してくれます。

今月のひまわり

山を彩っていた葉がすっかり落ちると、境内の
すみずみに植わっている千両や南天の赤い実が、
一層際立って見えてきます。皆様いかがお過ごし
でしょうか。もう毎年恒例となりましたが（笑）
私は相変わらず、気の重い年末を迎えています。
「どうして私だけ、こうもつまらないのだろ
う」と自分の境遇を嘆いては、独り反省会をし
てしまう日々です。思わずため息をつく、その吐
息の白さに雑巾をしぼる手がふと止まります。
すると、人知れず裏山に咲いたサザンカの花が、
目線の先でやさしく励ましてくれていたことに、
ようやく気付いたりします。

境内でお地藏様のお花の水が凍りつく真冬は
「水」が雪や氷、雨や水蒸気へと姿を変えながら
いろいろなることを教えてください。

水は「私、雨になりたい」などと言いつつなく、
雪の時は雪となり、温かくなれば雪であった過去
を引き起こすことなく軽やかに水となります。熱す
れば、ためらうことなく蒸発し水蒸気となります。
何のこだわりもなく自分の置かれた状況や環境に
合わせて、水は淡々と姿を変化させます。

「温度が低いから今は雪なのだ」とさりと受
け止め雪になる、そんな水のように潔い心があれ
ば、悩みや悲しみを抱えた「今」を乗り越えてい
けるのかも知れません。

今年もこの大智寺だよりをお読みいただき、本
当にありがとうございます。来年も皆様お一人
お一人にとって良きお年でありますよう、心から
お祈り申し上げます。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

下味がしっかり効いた 冬のコールスローサラダ

- ① 白菜 1/4 個・人参 1/3 本を洗って3 cmくらいの長さで千切りにする。
- ② 酢大さじ3、砂糖小さじ1、塩小さじ1を合わせたボールに
白菜と人参を入れて、30分ほど待つ。（その間何度か良く混ぜる）
- ③ しんなりしたら、よく水気を絞って別のボールに入れ、マヨネーズを
だいたい大さじ3ほど入れて塩コショウで味を調え良く混ぜ、出来上がり。

これにスイートコーンを入れたりすると子どもがたくさん食べてくれるんやよ
春はキャベツで作るけど、白菜も意外に白い芯の部分が人気みたいやよ。
途中で水気を絞ると量が少なくなるし、漬物と違っておかずになるし、ええよ。





～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十二回：生活信条 その②

大智寺の宗門を、やさしく簡単に
おわかりいただければ嬉しい、そんなお話



日々の生活を送る中で、私達はどのように臨済禅の信仰を實踐していけばいいのか
その心のよりどころとして、妙心寺では「生活信条」を全檀信徒に示しています。

三ヶ条ある中の二つ目が、
「人間の尊さにめざめ、自分の生活も他人の生活も大切にしましょう」

こうして年末を迎えると「一年あつという間だな」としみじみ思いますが、
ふと「きっと人生もあつという間なんだろうな」という気持ちがよぎります。
大きな歴史のうねりの中で、自分の存在は米粒ほど小さくはかない存在なのだろうけれど
何万年前にさかのぼっても、これから何万年たったとしても、
もう二度と「私」という存在はありえない、というメッセージを世に伝えたのは
「大河の一滴」(大森黎)という小説でした。

自分が人間として生まれてきたことの奇跡を、じっくりと得心いくまで考えてみると
決して自分をおろそかにできないという気持ちが、ふつふつと湧いてきます。

今一瞬を生きているこの「命」をしっかり自覚してみると、
見渡せば 隣の人も、犬猫も、足元の草花も、空の鳥たちも
「生きている」ことの尊さは、まったく変わらないことがわかります。
そして自ずと、お互いを大切に愛おしむ心が生まれてきます。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

12月28日(日) (内300円は義援金)
(朝8時～9時) 一回500円
要申込

11月写経会 備忘録

紅葉も今が盛りと心浮き立つ11月の日曜日
今回は突然副住職が外出してしまい、さびしい
写経会となりました。そのため、急ぎよ
若おくりの楽しい青空教室になってしま
いました(笑)今日はメンバーの方から頂戴し
たお濃茶を、初心者同士味わってみました。
お帰りにおすそわけしましたお寺の柚子は、
お風呂に入れてお使いください。寒い日には
とっても温まりますよ(笑)

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む 家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。